

「新入生代表 誓いの言葉」

ぼくたちのために、このような立派な入学式を開いてくださったこと、心より感謝いたします。

大地に恵みをもたらす春の雨が降る今日、ぼくたちは、桜の花びらと共に、この東桂中学校の門をくぐりました。

ぼくたちは今日から、中学生になります。自分の進む道を、自分で決めるための力を養う三年間が始まります。勉強に部活動、仲間との時間・・・たくさんの経験をし、充実した三年間になりますよう、毎日を大切にしていきたいと思います。

時には、悩み、立ち止まり・・・間違えてしまうこともあるかもしれません。そんな時には、先生方、先輩方のご指導をいただき、仲間と共に乗り越えていきたいと思えます。

どうか三年間よろしく願います。

令和5年4月7日

新入生代表 初原 叶真

「二年生になって頑張りたいこと」

春原 莉緒

私たち二年生は、昨年度の三月、二年生に進級するにあたって色々な活動を行ってきました。その中で、力を入れていきたいことが二つあります。

一つ目はあいさつについてです。授業の号令で、あいさつの声を出すことはもちろん、礼の仕方や礼をそろえるという細かい部分にも目を向けてきました。取り組み中だけでなく、取り組みが終わった後もあいさつを意識し、今年度も集会などで先輩として誇らしい姿を一年生に見せられるように頑張っていきたいです。また、二年生になり、学年として、以前よりもっと「おはようございます」や「こんにちは」、「さようなら」などのあいさつを先生方だけでなく、先輩・後輩にも自ら積極的にできるようにもしていきたいです。

二つ目は無言移動についてです。集会時において、整列の時は落ち着いて並べていましたが、移動時に話し声が聞こえてしまうことがありました。三学期の残り二日間で無言移動についても意識して生活してきましたが、今学期も引き続き無言移動も心がけ、課題を成果にできるよう頑張っていきたいです。

今日から私たちは中堅学年である二年生となります。先ほどの二つの目標に加え、下駄箱の靴をそろえることや、机・ロッカーの整理など、どんな些細なことにも気を配れるように頑張っていきたいです。また、学習面では学力の向上に向け、自ら意見を言ったり、質問をしたりして授業の質を高め、学習に積極的になれるようにしていきたいです。

私たちには、一度聞いたアドバイスをすぐに行動に移せるという良さがあります。その良さを活かし、日常生活や学校行事などで三年生を支え、一年生を引っ張っていけるように、一人一人が自覚をもち、一生懸命全力で励んでいきたいです。

「三年生に向けて」

高橋 明里朱

春休みが明け、ついに新年度がスタートしました。この春休み、みなさんはどのように過ごしたでしょうか。新一年生は中学校という新しい場所への準備でドキドキだったかと思います。二、三年生のみなさんは、どのように過ごしましたか。春休みは新しい学年になるための準備期間でした。私は春休み、最高学年として全校を引っ張っていける三年生になるにはこれからどんなことを意識していけばいいのかと考えました。そして、私は、三年生になって意識しなければならないことは、一人一人が自分の行動に責任を持つことだと思いました。

私たちは三月に、生徒会を中心に予餞会（三年生を送る会）を大成功させることができました。予餞会は私たち青学年にとって初めて全校の先頭となって動く行事でした。合唱を成功させることができたり、各部門の制作物など、心を込めた活動ができたりして、昨年度の三年生に喜んでもらうことができ、達成感を得ることができました。

その反面、課題もありました。後輩よりも集合が遅れてしまったり、無言整列がたまにできていなかったりしました。どちらも自分の行動に責任を持っていないから残る課題かなと思いました。

私たちは今年度、進路選択があります。それぞれが自分の進路と真剣に向き合う一年になります。今まで同じ生活を送ってきましたが、来年の四月は、違う進路・違う高校へ進むこととなる仲間もいるでしょう。それぞれが自分の進路を実現させるためにも、一人一人が責任を持った行動をとれるようにしていきます。

全校をしっかりと引っ張っていける三年生、去年のように地域に誇られる学校を目指し、これから私たち三年生は頑張っていきます。そして、学校生活と行事、勉強をしっかりと両立し、仲間同士で助け合って頑張っていきたいと思いません。

三年生のみなさん、今年一年、頑張りましょう。

ありがとうございました。

みなさん、おはようございます。

春休みで次の学年への気持ちの準備はできましたか。今日からいよいよ新学期が始まります。

「守破離」という言葉を知っていますか。この言葉は、「守る」、「破る」、「離れる」という三文字が組み合わさってできています。意味は、武道において、修業における段階を表しています。

「守」は、決められた型を守り基本を習得する。「破」は、「守」で身に付けた基本をベースにしながら、自分なりの工夫をして型を作り、既存の型を破る。

「離」は、「守」の基本の型と、「破」の自分なりの型を踏まえて、新しいものを生み出し、型から離れる段階のことをそれぞれ示します。

「守破離」のように、一年生は先輩の背中を見て東中生の仲間入りをし、型を守る。二年生は、先輩の背中を見て学びながら、型を破り、自分たちも後輩のお手本になれるようになる。三年生は、型から離れ、後輩たちの手本となる新しい型を生み出し、全校を引っ張っていく。

そんな一年にそれぞれの学年ができればと思います。

一人一人が東中生としての自覚を持ち、ともにより良い東桂中学校をつくっていきましょう。